

# 平成 30(2018)年度事業計画書

一般財団法人 高度映像情報センター  
( A V C C )

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

## 目次

I はじめに.....	4
(1)「コンピテンシー」を鍛える.....	4
(2)個人と社会の「レジリエンス」を高める.....	5
(3)「共同体感覚」を意識し育成する.....	5
(4)教育事業の品質向上を目的に、ISO29990 に準拠し活動します.....	7
II 霞が関ナレッジスクエア(KK <sup>2</sup> ) 事業.....	8
(1)人と人の絆と地域の再生.....	8
-1 AVCC&KK <sup>2</sup> 事業説明会(学びと交流プログラム).....	8
-2 気仙とKK <sup>2</sup> のコミュニティ活動の交流「デジタル公民館まつさき」活動.....	8
-3 行政に頼らない「むら」おこし、「やねだん」(鹿屋市串良町柳谷集落)Web ページ運営.....	9
-4 タフな心をつくるプログラム～防災のプロに学ぶ～.....	9
-5 霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～.....	9
-6 「レジリエンスを鍛えるプログラム」コーディネート業務.....	10
-7 大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定締結.....	10
(2)しごと力向上・エキスパートと学ぶ.....	11
-1 社会で活躍する人のしごと力を学ぶ「エキスパート・スタジオ」.....	11
-2 しごと力道場～思考力を高める対話型トレーニング～.....	11
-3 しごと力向上ライブ러리.....	12
-4 KK <sup>2</sup> キャリア相談室.....	12
-5 産学官連携プログラム.....	12
-6 コンピテンシー・チェック(Web プログラム).....	13
(3)新しい役割を担うアクティブ・シニアを応援.....	13
(4)文化に親しむ交流事業(KK <sup>2</sup> 文化プログラム).....	13
-1 食と文化講座.....	13
-2 「霞が関音楽祭」への協力.....	13
-3 霞が関寄席.....	13
-4 音楽・文化活動への支援.....	14
-5 江戸 TOKYO 散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～.....	14
(5)産学官連携支援事業.....	14
-1 霞が関オープンランチミーティング.....	14
-2 霞が関ばたけ.....	14
(6)その他.....	14
-1 運用業務関連.....	14
-2 メールマガジン「メッセージ from KK <sup>2</sup> 」.....	16

Ⅲ コンサルティング事業 .....	17
(1) システムコンサルティング業務 .....	17
- 1 防災情報システム総合コンサルティング業務 .....	17
- 2 業務系システム最適化支援業務 .....	18
- 3 電子自治体構築支援業務 .....	18
- 4 教育・文化施設等における情報システム構築支援業務 .....	18
- 5 高齢社会の課題解決へ向けた取り組み .....	18
(2) ネットワークコンサルティング業務 .....	19
- 1 防災行政無線コンサルティング業務 .....	19
- 2 超高速ブロードバンド基盤整備コンサルティング業務 .....	19
- 3 CATV コンサルティング業務 .....	20
- 4 衛星通信コンサルティング業務 .....	20
(3) 情報セキュリティコンサルティング業務 .....	21
- 1 ICT 部門における業務継続計画 (BCP) 作成業務 .....	21
- 2 ISMS 構築及び ISO27001 認証取得支援業務 .....	21
- 3 情報セキュリティ外部監査業務 .....	21
- 4 学校における情報セキュリティ対策支援業務 .....	21
- 5 プライバシーマーク認定審査支援業務 .....	22
- 6 情報セキュリティ/個人情報保護等研修支援業務 .....	22
(4) TV 会議システム運用業務 .....	23

## I はじめに

AVCC の事業目的は、ICT を利用した高度映像情報メディアの利用と提供についてのコンサルティングを行い、情報伝達手段の効果的な利活用により、国民の職業能力の向上と学習機会の提供を行うものとし、生涯学習の推進、文化・生活の向上、産業経済の発展に寄与することにあります。

人生 100 年時代が身近になり、経験したことのない人口減少・超高齢社会が進展する中、「働き方改革」は大変重要な課題です。労働者と使用者いわば労使が、仕事や職場の実態に即した多様な働き方を実現して行く自律的な取り組みが必要です。就かれている職業、置かれている立場、経験の多少等により、裁量の幅、裁量の自由度は当然異なりますが、残業代が支払われる、支払われないといった賃金面の議論よりも、働き手の職業能力の向上と自律的働き方を実現していくことが、「働き方改革」の本質ではないでしょうか。

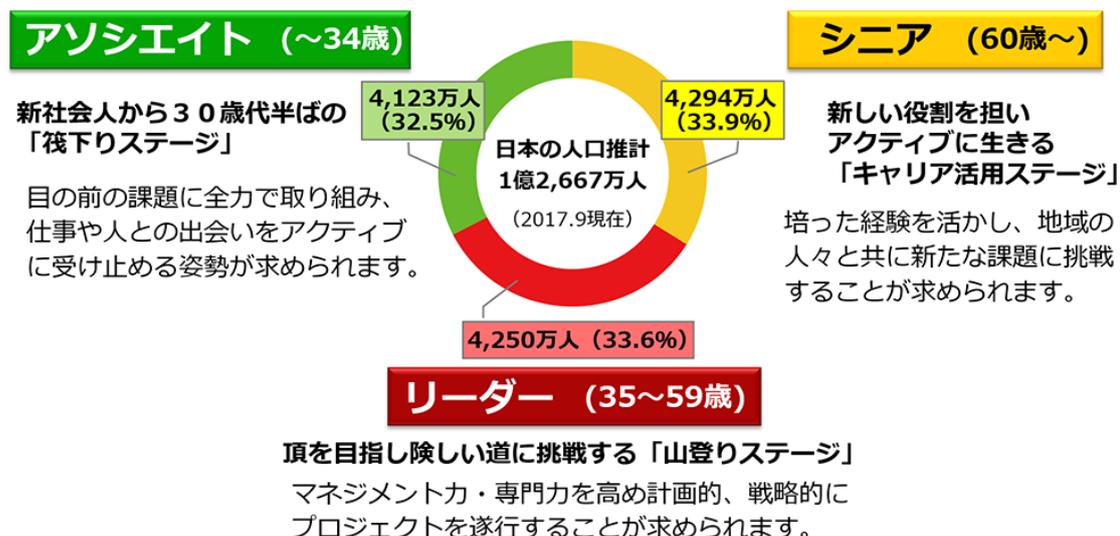
人手不足が常態化し、高齢者等弱みを抱える人が増大していく中で、安心安全な地域社会を維持するために、AI・IoT・ロボット・ブロックチェーンといった ICT の利活用は不可欠です。併せて年齢・性差・ハンディキャップ・賞罰・国籍・宗教等に囚われない雇用機会、即ち「生きにくさを抱える人」に「その人らしく活躍する」場・機会を創出提供することで、「社会の負担」を「社会の力」に変え、地域社会の活力の維持向上を図る取り組みが大切です。

AVCC は昨年度に引き続き、以下四つのテーマで「働き方改革」に資する学びを提供し、安心安全な地域社会作りのコンサルティングに取り組めます。

### (1)「コンピテンシー」を鍛える

霞が関ナレッジスクエア(KK<sup>2</sup>)では、社会で活躍する人の行動特性を KK<sup>2</sup> コンピテンシーとして整理し、その理解と体得を目的とする様々なプログラムを提供しています。

## 人生100年時代、3キャリアステージ



人生 100 年時代に向けて、一生を大きく三つのキャリアステージで考え、各ステージで活躍するロール・モデルのコンピテンシー(行動特性)を明らかにし、それを理解し体得する行動科学的なアプローチを行っています。物事を見る目、課題を設定し、客観的に判断し、実行するといった個人のコンピテンシーを鍛えます。

## (2)個人と社会の「レジリエンス」を高める

レジリエンスとは、「変化を受けとめ、しなやかに対応する力」です。「想定外」「今までに経験した事のない」と形容される自然災害や異常気象が多発し、甚大な被害を受ける地域や人々が増えています。

災害医療スペシャリストの [石井美恵子さん\(2017年9月7日第46回エキスパート・スタジオ出演\)](#) は、「どっちに判断しても、メリット・デメリットがある。判断しないことで被害は拡大する。一度判断をし、その判断を修正する力も重要。」と 3.11 東日本大震災での体験をリアルに語られました。マニュアルや既成観念にとらわれずに、事実を見、自分の頭で考えて、その状況



第46回 エキスパート・スタジオ ゲスト 石井美恵子さん

で正しいと思う行動をする教育訓練を目指し、個人と社会のレジリエンスを高めます。

## (3)「共同体感覚」を意識し育成する

～皆がどんどん社会参画したくなるプラットフォーム、コミュニティ活動の醸成～

共同体とは、家族、職場、地域、国家といった利益、目的を共にする人々の集団、つまりコミュニティの事です。「60歳からの人生がその人の真価を決める。だからこそ現役時代の何倍もの緊張感をもって生きなさい。」という、教育者 森信三氏の言葉に触発され、[高畑敬一さん\(2011年1月21日第12回エキスパート・スタジオ出演\)](#)が退職後設立したボランティア団体 NPO 法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ(通称:ナルク)の「時間預託制度」は、特定の共同体内での「仮想通貨」のようなユニークな制度です。ボランティアした時間を1時間1点として貯金のように貯めておくことができ、貯まった時間を自分や家族が困った時に引き出して使うことができます。



第12回 エキスパート・スタジオ ゲスト 高畑敬一さん

ボランティアの内容は、介助、介護、通院送迎、買い物、家事、庭の手入れ、街の清掃、老人ホームでの傾聴、子育て支援等地域毎に多様な活動を行っていますが、中でも[ナルク中標津の「見廻り隊」](#)は、中標津市内の独居老人をリストアップし元気なシニアが分担してケアする素晴らしい共同体活動となっています。



「自立・奉仕・助け合いで地域社会を支えるナルク～中標津「見廻りたい」の「孤独死防止」活動～」より

「見廻りたい」活動は、「共同体感覚」が醸成され実現したコミュニティ活動ですが、全国を見まわすとこういった活動がどこにでもあるわけではありません。ナルクのようなプラットフォームが無ければ地域住民の参加は得られません。時間預託制度を参考に特定地域毎に遣えるデジタル通貨のプラットフォームを設け、地域住民の社会参画を促すというのはどうでしょうか。例えば、地域のおばあちゃん達が仕事で忙しい母親の子供らのお世話をします。おばあちゃんのこの活動は地域で

デジタル通貨として預託され、地域の甘味屋さんで饅頭を買うのに遣うことができる。そんなプラットフォームです。

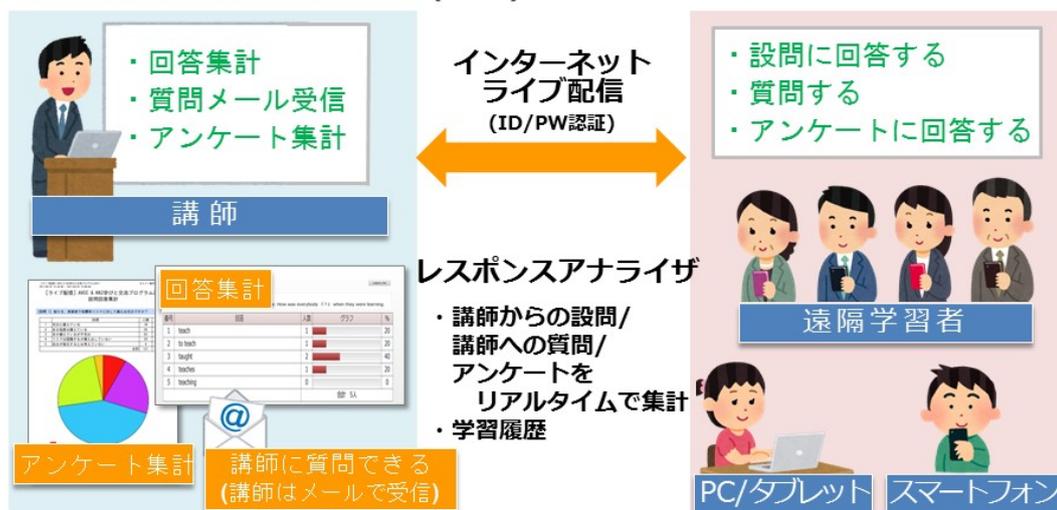
今年度「高齢社会」についての学びの中で、多くの人が社会参画したくなるプラットフォーム、コミュニティ活動について考えていきたいと思えます。

**(4)教育事業の品質向上を目的に、ISO29990 に準拠し活動します**

AVCC はプライバシーマーク、ISO27001 を取得し、またこれらの認証取得のコンサルティングを行っています。昨年度より教育事業については ISO29990 に準拠した活動を行っています。ISO 29990 は、「非公式教育・訓練における学習サービスサービス事業者向け基本的要求事項」です。非公式教育・訓練分野とは学校教育以外の学習サービスを提供する事業者に対する基本的要求事項を定めた国際規格で、利用者に対して提供する学習サービスの明確化と事業者としての基盤整備を求めるものです。厚生労働省も教育訓練事業の品質を目指し、「民間教育訓練機関における職業訓練サービスガイドライン」を発行しています。

今年度 KK<sup>2</sup> Web サイトをリニューアルします。KK<sup>2</sup>は学びの場として「会場」のほか、Web サイトに「インターネットライブ学習」「オンデマンド学習」という 3 つを用意しており、講師からの設問への回答や、質問、アンケートなどをリアルタイムに集計する RA (Response Analyser) 機能を活用した遠隔教育(Distance Learning)サービスを提供しています。リニューアルにあたり、LMS(Learning Management System)機能を強化し、「何時でも、何処でも、誰でも学べる」学習サイトを提供します。

霞が関ナレッジスクエア(KK<sup>2</sup>)は**デジタル公民館**です。



## II 霞が関ナレッジスクエア(KK<sup>2</sup>)事業

KK<sup>2</sup> は『共に考え、共に学び、共に担う社会へ』というミッションを掲げ、千代田区霞が関の民設民営の公民館として、アソシエイト・リーダー・シニアといった幅広い世代のみなさんが交流する場、産学官連携の場として、「学び」と「交流」事業を進めています。

### (1) 人と人の絆と地域の再生

2018年1月19日に開催した10周年記念講演会「[さあ、人生100年時代。どう働き、どう生きるか！](#)」をキックオフとし、高齢社会をテーマに、人と交流する場を提供し、様々な立場の人たちが活躍し、自分と向き合い、人と人の絆と地域の再生をめざすプログラムを提供します。

#### ー1 AVCC&KK<sup>2</sup> 事業説明会(学びと交流プログラム)

例年どおり事業説明会を上半期に開催予定です。昨年度1月に開催した記念講演会では、高齢社会への正しい理解や、実際の先進的な企業の取組について講演をしていただきました。現在、その次のステップとなるテーマを検討しており、AVCC 賛助会会員、KK<sup>2</sup> 協賛メンバーが相互に学び、交流いただく場としてご活用いただきます。

#### ー2 気仙とKK<sup>2</sup>のコミュニティ活動の交流「デジタル公民館まっさき」活動

[「デジタル公民館まっさき」](#)活動は、3.11 東日本大震災で大きな被害を被った岩手県気仙地方を継続的に訪問し、地域住民の方々と都会から出向いた参加者が共に進めてきました。現在では、大船渡市の末崎地区公民館(ふるさとセンター)、居場所ハウス、陸前高田市の一般社団法人長洞元気村等をハブとした、住民主体の自律したコミュニティ活動が再興され営まれています。しかし大船渡市末崎町の場合、東日本大震災発災時約4,500人だった人口は7年後には3,700人に減り、75歳以上の人口が約1,000人と高齢化が加速しています。

今年度は、気仙地域とKK<sup>2</sup>の交流を通じて「高齢社会」の現状を学ぶ活動と位置付け、ふるさとセンター、居場所ハウス、長洞元気村での活動に参加し、「高齢社会」の現場を学び「共同体感覚」を醸成することを目的とし、KK<sup>2</sup>側の参加者を募ります。

なお、ふるさとセンターのネットワーク環境(光回線、WiFi環境、Webサーバ、メールサーバ、TV会議)経費は公民館事業費として予算化されましたので、KK<sup>2</sup>はネットワーク環境の維持運営をサポートします。

### ー3 行政に頼らない「むら」おこし、「やねだん」(鹿屋市串良町柳谷集落)Web ページ運営

「やねだん」は鹿児島県大隅半島のほぼ中央に位置し、120 世帯およそ 300 人が共存する、高齢化が進む典型的な中山間地域の集落です。「やねだん」では住民が協働して土着菌堆肥を作り、休遊農地でサツマイモや唐辛子を栽培し、家畜排せつ物の消臭にも活用しています。これらの販売により集落としての自主財源を確保し、住民の福祉向上などに役立てています。KK<sup>2</sup> は、この「自律した地域作り」を「地域再生」「コミュニティ・ビジネス」の good practice として Web サイトで紹介し続けています。また、「やねだん」のリーダー豊重哲郎さん(柳谷自治公民館館長)は第 17 回エキスパート・スタジオに登場され、人生 100 年時代のコミュニティリーダーのあり方について熱く語って居られます。(やねだん Web サイト <http://www.yanedan.com/>)



やねだん Web サイト

「やねだん」のリーダー豊重哲郎さん(柳谷自治公民館館長)は第 17 回エキスパート・スタジオに登場され、人生 100 年時代のコミュニティリーダーのあり方について熱く語って居られます。(やねだん Web サイト <http://www.yanedan.com/>)

### ー4 タフな心をつくるプログラム～防災のプロに学ぶ～

昨年度新プログラムとして開催した「やってみよう! 防災アクション」は、東京都が都内全世帯に配布した防災ブック「東京防災」を活用し、いざ! という時「自分を守る」「家族を守る」「職場・地域の仲間を守る」ために必要な知識、スキルを学ぶ

内容で 3 回開催しました。講師は「震が関防災キャンプ」「心と体のストレッチ」でもおなじみの鎌田修広さん(株式会社タフ・ジャパン/元消防学校体育教官)です。今年度は、「タフな心をつくる」をテーマに引き続き鎌田講師にご協力いただき新プログラムを 3 回開催予定です。

・開催予定:2018 年 7/25(水)、10/17(水)、2/6(水)



防災アクション

### ー5 震が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～

仕事帰りに気軽に“坐禅”を体験し、姿勢を調べ、呼吸を調べ、そして心を調べ、じっくりと自分自身と向き合ってください。昨年度の新プログラムで、今年度も臨済宗妙心寺派 東京禅センター様にご協力いただき、講師には第 29 回エキスパート・スタジオのゲスト 柴田文啓さん(臨済宗妙心寺派 宗門活性推進局顧問/開眼寺住職)と、中山宗祐さん(臨済宗妙心寺派 東京禅センター/円光寺 副住職)をお迎えします。今年度は KK<sup>2</sup> 会場で 2 回開催予定です。また参加者のニーズがあれば 6 月に開眼寺(長野県千曲市)での坐禅会も企画する予定です。

今年度は KK<sup>2</sup> 会場で 2 回開催予定です。また参加者のニーズがあれば 6 月に開眼寺(長野県千曲市)での坐禅会も企画する予定です。

・開催予定:2018 年 4/19(木)、11/1(木)



震が関坐禅会

#### ー6 「レジリエンスを鍛えるプログラム」コーディネート業務

2014 年度より KK<sup>2</sup> で開催した防災関連のプログラムの経験を活かし、企業から依頼を受け防災教育プログラムのコーディネート業務を行っています。マニュアルに沿った防災訓練ではなく、意識改革を主眼とした体感型訓練を実施し、有事に自分の頭で考え行動できる、また人とコミュニケーションをとり行動できることをテーマとした教育プログラムです。KK<sup>2</sup> アドバイザリーメンバーの鎌田修広さん(株式会社タフ・ジャパン 代表取締役)にご協力いただき、今年度も実施予定です。

#### ー7 大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定締結

2015 年 2 月、千代田区と「大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定」を締結し、震災、水災等の災害により被災した千代田区内の帰宅困難者等を一時的に「エキスパート倶楽部」と「スタジオ」に受入協力を行います。東日本大震災発災時に KK<sup>2</sup> として独自に帰宅困難者受入を行った経験を活かし、引き続き月 1 回の千代田区との防災無線訓練、年 1 回の実地訓練に加えて、マニュアルの整備、備品の充実等を図ります。また KK<sup>2</sup> の近隣施設・企業との連携についても継続的に進める予定です。帰宅困難者等受入にあたっては、現状以下の環境を整えています。

- ・千代田区災害対策危機管理課との専用無線
- ・3 日分の水食料、毛布、携帯トイレなどの備蓄品
- ・災害時特設公衆電話(4 回線)
- ・大型ディスプレイからの災害情報番組の放送(最新の交通情報、被害情報などの提供)
- ・Wi-Fi回線の開放及びパソコンの無料貸与
- ・スマホや携帯電話の充電対応 など



帰宅困難者等一時受入訓練風景

## (2)しごと力向上・エキスパートと学ぶ

### ー1 社会で活躍する人のしごと力を学ぶ「エキスパート・スタジオ」

「エキスパート・スタジオ」は、様々な分野で活躍するエキスパートをゲストに迎え、「仕事とは」「働くとは」「働く喜びとは」について考え学ぶインタビュー形式の Web 番組です。ゲストは様々な職業で活躍する若い世代から、人生二周目に社会の課題解決へ挑戦するアクティブシニアまで、目の前の課題に全力で挑戦するエキスパートです。「アソシエイト」「リーダー」「シニア」各年代の参加者が、エキスパート達の考え方、行動、しごと力、コンピテンシーについて学び自分の「ロール・モデル」を見つけることを目的とし、昨年度で 48 人のエキスパートを紹介しています。



第 47 回 航空業界 空港ラウンジアテンダント職  
嶋田 鈴さん

企業や団体・組織で活躍する若い世代のエキスパートの場合は、就職活動の時期に合わせて開催し、遠隔地で参加できるライブ配信も活用し、多くの学生が参加する場となっています。通常の企業説明会とは異なり、エキスパートの仕事への思いやコンピテンシーについてじっくりと向き合うことができること、また組織側も求める人材像を学生達に直接伝えられることができる有意義な場として評価していただいています。

今年度も協賛メンバーの組織からの推薦の他、アクティブシニア層や様々な分野で活躍するエキスパートを 4~6 名紹介する予定です。人生 100 年時代に向け、マルチキャリアで活躍する若手、ミドル世代で仕事をチェンジした人などもご紹介したいと考えています。

### ー2 しごと力道場～思考力を高める対話型トレーニング～

「アソシエイト」「リーダー」層を中心にビジネスにおける普遍的なテーマについて、定員 10 名の少人数でディスカッションを行い「自分で考える力」「自分を客観的に評価する力」を養うプログラムです。昨年度は「対話とは？～対話と会話の違いとは？～」「リーダーシップとは？」「チームワークとは？」というテーマで開催しました。ディスカッションのテーマは参加者の希望を踏まえファシリテーター（師範代）が選択しています。

また継続的に参加することによって効果が高まるプログラムのため、現在参加回数に応じて「白帯」「茶帯」「黒帯」と段位認定し認定証を発行しています。参加者の定着化も進み、黒帯保持者も 9 名となりました。「対話力」をキーワードに「持論・対論の発信」「相手の考えを理解する」「場を整える」といったチェックシートを用意し、参加者に自己チェックを行っていただいています。今後段位認定制度についても検討を続けていきます。事前学習に活用できる講座を「しごと力向上ライブラリ」として開発することも引き続き検討します。今年度も 3 回開催予定です。

- ・開催予定：2018 年 5/19(土)、10/13(土)、1/26(土)
- ・ファシリテーター（師範代）：池田正夫さん（人材育成コンサルタント）



2018年2月17日しごと力道場  
テーマ「チームワークとは？」



認定証: 白帯(1回)、茶帯(3回)、黒帯(5回)

### ー3 しごと力向上ライブラリ

「しごと力向上ライブラリ」は現在 84 講座 237 本(2018年2月現在)を開発しています。学校教育や企業研修という枠を超え、社会で活躍するために必要な「しごと力」を学べる講座を提供しています。KK<sup>2</sup>をご支援いただいている協賛メンバーの組織はもちろん、教育研修制度を整えるのが難しい中小企業等でも活用していただけるよう、開発しています。なお、公開する単元も 200 本を超えたため、昨年度は講座の棚卸期間と位置づけ、教育ニーズの高いプログラムについて優先的に見直しを行い、必要に応じて再編集、リメイクといった整備を行ってまいりました。今年度はまだ整備できていない教育ニーズの開拓を意識しながらプログラムの開発を行ってまいります。



2018年2月22日公開  
基礎から学ぶ 仕事に活かすインターネット



2017年12月28日公開  
育てて増やそう! わたしのお金 ~つみたてNISAを活用した資産形成のすすめ

### ー4 KK<sup>2</sup> キャリア相談室

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会(JCDA)と提携し、5人の経験豊かなキャリアカウンセラーの方に月曜日から金曜日の週5日、16:00/17:00/18:00/19:00の4枠を担当していただいています。職業紹介とリンクしない独立したカウンセリングというユニークなキャリア相談ということでリピーターも増えています。人生100年時代を迎えさまざまな立場の方たちのキャリアをサポートするため、シニアの方たちにも積極的に活用していただけるようPRを進めてまいります。

### ー5 産学官連携プログラム

文部科学省、厚生労働省、内閣府等各省の人材育成施策を踏まえ、産学官連携や地域での様々な取組み(Good Practice)を紹介します。KK<sup>2</sup>として取り組んでいる「レジリエンス」「キャリア教育」「高齢者就業支援教育」「地域再生」といったテーマで開催します。

## －6 コンピテンシー・チェック(Web プログラム)

社会に貢献している人、社会で活躍する人、優れた仕事をする人が備える「しごと力」の中核となるコンピテンシー「Feel(人間力)、Think(知考力)、Act(行動力)」について理解し、自分自身の学習課題を明らかにする Web プログラムです。KK<sup>2</sup> サイトで公開しており無料 Web 会員登録を行えばどなたでも利用できます。

今年度は KK<sup>2</sup> コンピテンシーの改訂についての検討も着手しブラッシュアップを図ります。



コンピテンシー・チェック web 画面  
感情マネジメント力「年下の上司」

## (3) 新しい役割を担うアクティブ・シニアを応援

KK<sup>2</sup> が掲げる「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」の実現に向け、人生 100 年時代のキャリアを考えるプログラムを推進してまいります。またシニアの方々の培った経験、知見を活かし、KK<sup>2</sup> の活動を応援していただくことも検討します。

## (4) 文化に親しむ交流事業(KK<sup>2</sup> 文化プログラム)

文化に親しみ、人と人との交流の場を提供する「KK<sup>2</sup> 文化プログラム」は、文化庁「霞が関から文化力プロジェクト」事業として展開しています。



### －1 食と文化講座

食を通じてさまざまな文化に触れ、講師、参加者とともに交流の場を提供するプログラムです。今年度は、地域創生に貢献できるテーマ、特に「エキスパート・スタジオ」をはじめ、KK<sup>2</sup> で取り組んでいるプログラムにご協力いただいた自治体、組織、講師などと連携して企画を行い、日本の地域の魅力を食と文化という視点で発信していきます。今年度 3 回開催予定です。

・開催予定:2018 年 7/4(水)、11/14(水)、ほか1回

### －2 「霞が関音楽祭」への協力

文化庁が中心となり、KK<sup>2</sup>、霞が関コモンゲート、霞が関ビル等が主催するプログラムです。文化庁主催の「霞が関から文化力プロジェクト」の一環で、霞が関のにぎわい創出、また音楽に気軽にふれていただく機会の提供として 2014 年度よりスタートしました。参加費は無料で回を重ねるごとに周知が進み、定着しています。今年度7月下旬に開催予定です。

### －3 霞が関寄席

仕事に忙しくストレスの多いビジネスパーソンに、伝統芸能に親しむ場、そして笑いでストレス発散、リラックスする場を提供します。今年度 3 回開催予定です。毎年1回、チャリティ寄席を開催して

いただき、木戸銭は KK<sup>2</sup> の活動にご寄付いただいております。

- ・開催予定:2018 年 5/23(水)、9/1(土)、12/5(水)
- ・出演予定:金原亭馬玉さん、金原亭駒与志さん

#### －4 音楽・文化活動への支援

2008 年より株式会社ミュージカル様と共催してきました「霞が関ミュージックサロン」は、2016 年度より株式会社ミュージカル様が主催するプログラムへと変更しました。それに伴い KK<sup>2</sup> は会場提供の協力を行っています。なおミュージカル様には前掲の「霞が関音楽祭」にご協力いただいております。今年度 2 回協力予定です。

#### －5 江戸 TOKYO 散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～

2008 年の KK<sup>2</sup> 開設記念に制作したオリジナル作品「江戸 TOKYO 散歩」は、歌川広重の最高傑作といわれる「名所江戸百景」から春夏秋冬の 12 景をモチーフに紹介、江戸と現在の東京の街並み、人々の営みを映像に収めています。世界の方々をご覧になれるよう多言語(英語/韓国語/繁体字/簡体字)で提供しております。 URL:<http://edo-tokyo-sanpo.com/>

### (5)産学官連携支援事業

#### －1 霞が関オープンランチミーティング

2011 年 1 月よりスタートした中央省庁の若手官僚、NPO リーダー、企業の CSR 関係者、大学関係者等による「霞が関オープンランチミーティング」(月 1 回開催)は、3.11 東日本大震災をきっかけに被災地の復興を支援する産学官のインフォーマルな情報交換の場となり、現在は各メンバーの立場でできることを持ち寄り地方創生に向けた連携協働を進めています。KK<sup>2</sup> は会場提供の協力を行っており、今年度も月 1 回程度協力予定です。

#### －2 霞が関ばたけ

農林水産省の若手職員が中心となり、日本の農林水産業の未来について、農林水産業従事者、企業、NPO、大学等垣根を越えて連携し、それぞれの立場での課題共有や議論を深める早朝ミーティングの場です。2012 年より KK<sup>2</sup> は会場提供の協力を行っています。今年度も月 1 回程度協力予定です。

### (6)その他

#### －1 運用業務関連

持続可能な事業とするために改革を続けてまいります。

KK<sup>2</sup> の収入の柱である、施設貸出業務、メンバー制度の拡充について具体的アプローチを進めていきます。また 5 月に KK<sup>2</sup> Web サイトのリニューアルを予定しており、効率的な運用体制をめざします。

#### ① 協賛メンバー向け Web サービスの提供(協賛メンバーページ)

2016 度よりスタートした協賛メンバーの従業員様向け学びのページ作成サービスは、現在3社のご利用をいただいています。システムのリニューアルに伴い、管理画面の提供も可能になります。協賛メンバー制度加入のメリットとしてもお勧めできるよう、今年度はさらに多くのメンバー様にご活用いただけるよう推進していきます。

#### ② 施設貸出

現在施設貸出については、協賛メンバー、一般向けに「スタジオ」「ラウンジ」「エキスパート倶楽部」の3か所について行っています。昨年度以上の利用実績を実現できるよう、引き続きPRし稼働率を向上してまいります。

施設貸出については、現状の空室率(5-6割)を下げ貸出率UPを目標に具体的アプローチを行ってまいります。また既存顧客へのリピート促進のためのアンケートやキャンペーンといった働きかけも検討してまいります。とくに、KK<sup>2</sup>の特徴であるライブ配信、RA(Response Analyser)機能の利用についてPRし活用を促進します。

なお、交流カフェエキスパート倶楽部は、4月からのカフェ運営を「だれもが、生きやすい社会をつくりたい」をミッションに掲げ活動している社会福祉法人むそう様と協力し、障害をもった方たちの働く場所として、新たな役割を担います。15時以降は、学びと交流のコミュニティスペースとして、セミナーとパーティといった新たな需要の掘り起こしを進めます。

#### ③ 協賛メンバー制度

昨年度末で32団体に協賛メンバーとなっただきKK<sup>2</sup>事業を支えていただいています。さらにメンバーを増やしていけるよう魅力ある事業を行ってまいります。なお、利益供与は行わない個人のサポーター制度も検討していきたいと考えております。

#### ④ KK<sup>2</sup> Web リニューアル

KK<sup>2</sup> Web は、学習サイトとしてさらに活用いただけるように機能面のリニューアルを行います。また管理機能を充実させて、施設貸出や自主プログラム開催業務など運営管理業務の負荷軽減も目指します。

KK<sup>2</sup> Web は Web 会員登録を行うことにより、プログラムの申し込みや動画プログラムの視聴が可能です(無料)。学びの場として「会場」のほか、「ライブ配信」「オンデマンド」という3つをKK<sup>2</sup>は用意しております。共通にアンケートを習得できるRA(Response Analyzer)機能を今回 Web に搭載し、遠隔教育サービスを実現します。

これまで協賛メンバーページは、KK<sup>2</sup>で運営をしていましたが管理画面を構築しユーザーに提供可能となります。これにより従業員に必要な学びを担当の方がスピーディに変更、追加でき利便性が高まります。

また昨年度より、協賛メンバー様への eラーニングサービス(LMS)の提供をスタートしました(別途 LMS 費用が必要です)。KK<sup>2</sup>の既存講座の活用、オリジナル動画教材制作・活用、またライブ配信も可能です。今後も学びの場の提供として LMS 会員を広げてまいります。

#### ⑤ スタジオ機器・設備リニューアル

2008 年の開設以降、10 年経過し、映像・音響設備等のリニューアル時期となります。昨年度より準備を行っており、今年度 7、8 月頃実施予定です。

#### ⑥ KK<sup>2</sup> 運営委員会の開催

文部科学省と、KK<sup>2</sup> が入居する霞が関コモンゲートの霞が関 PFI 株式会社が主催する霞が関ナレッジスクエア事業のモニタリング機能として運営委員会を開催しています。今年度も上期下期それぞれ1回開催し、KK<sup>2</sup>からは有識者委員2名、事務局が参加します。

#### ⑦ 自主プログラム事務局運営

ご利用者の利便性向上のため、また事務局業務の負荷軽減のため、プログラムの申込について、原則クレジットカードのみの決済とします。また割引制度のある協賛メンバーの同伴者 1 名まで割引を適用していましたが昨年度末で終了しました。

アンケートについてはこれまで紙で行っていましたが、RA (Response Analyser) 機能を使いオンラインでのアンケート回答に昨年度後半より移行しています。今後お客様の満足度を意識しながら新年度より新しいスタイルで進めてまいります。

### ー2 メールマガジン「メッセージ from KK<sup>2</sup>」

毎週金曜日に無料 Web 会員向けにメールマガジン「メッセージ from KK<sup>2</sup>」を発行し、KK<sup>2</sup>のプログラム紹介やお知らせを発信しています。巻頭言「メッセージ from KK<sup>2</sup>」は、KK<sup>2</sup> 開催プログラムと連動した「人と人との絆と地域再生」や「キャリア」「学び」をテーマにし、週替わりで4名がメインで担当しています。[執筆者:久保田了司(KK<sup>2</sup> 代表)/伊藤健二(KK<sup>2</sup> 産学官連携首席研究員)/伊庭野基明(グローバルキャリアカウンセラー)/華井弘子(「エキスパート倶楽部」ゼネラルマネージャー)]

KK<sup>2</sup> Web のアクセス解析より、各プログラムへのアクセスはメールマガジン、とくに「メッセージ from KK<sup>2</sup>」との連動性が高いことが示されていますので、効果的な活用を行ってまいります。

現在、メルマガ登録者数、Web アクセス数が頭打ちになっており、アソシエイト層がリーダー層に移行し減っている状況です。アソシエイト層にリーチできるコンテンツ、プログラムの提供を意識し、学校や就職活動との連動も検討していく必要があります。

また、動画が 1300 本を超える数が公開されていますが、検索性が低くなかなかリーチいただくことができません。こちらについてもたくさんの方に視聴いただけるよう PR を進めます。

・年間発行予定数:約 50 回。





### Ⅲ コンサルティング事業

行政機関のICTを活用した情報化を実現するための企画設計、監理、運用支援、および情報セキュリティ・個人情報保護の助言・監査などを行います。

#### (1) システムコンサルティング業務

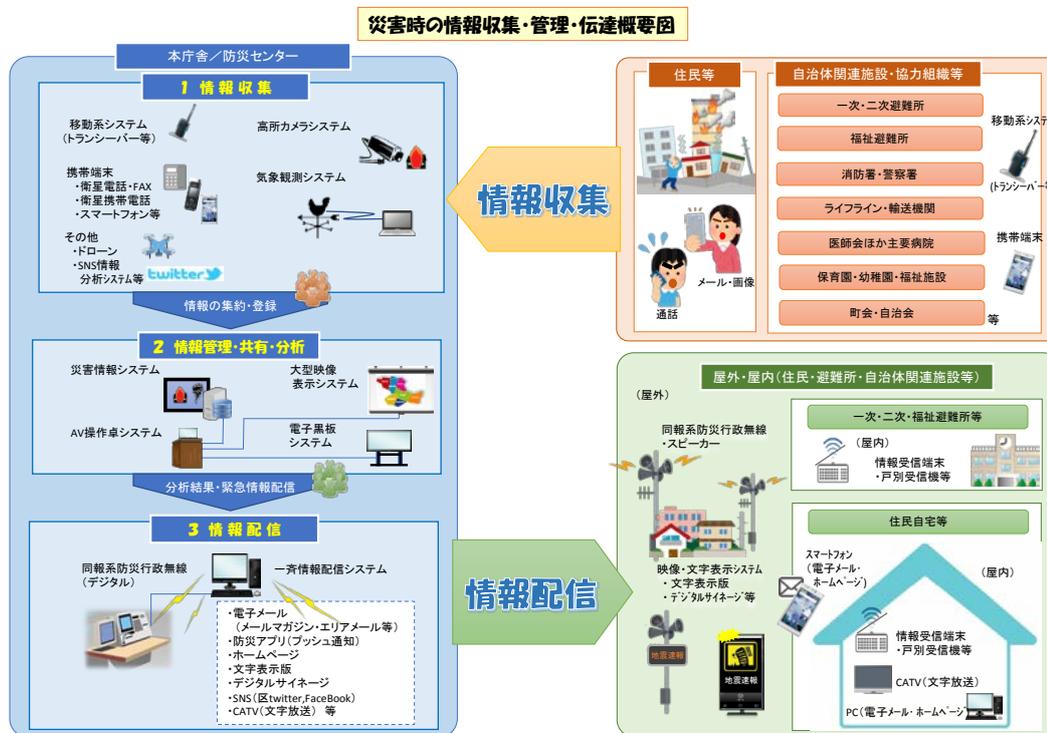
##### ー1 防災情報システム総合コンサルティング業務

自治体の防災センターや災害対策本部等で整備するシステムは、情報化の進展に伴い、多岐に渡っています。

情報の収集には移動系防災行政無線、監視カメラ、気象観測システム等、また情報の管理にはGISを活用した防災情報管理システム、AIを活用した分析・意思決定支援システム等、さらに情報の配信には同報系防災行政無線、メール、SNS、ホームページ等への一斉情報配信システムなどの導入が図られています。

それらの情報を共有するためには、大型モニタシステムや音響設備、テレビ会議システム等、多様なシステムやメディアとの連動も必要になります。

AVCCでは、災害時でもこれらが迅速かつ有効に運用されるための助言、それに基づくシステム設計、設備管理の簡素化・低廉化など、自治体の防災情報システムについて総合的なコンサルタンต์を目指します。



防災情報システムの全体イメージ

## －2 業務系システム最適化支援業務

平成 29 年度より、マイナンバーによる自治体間の情報連携が始まり、今後、ますます多くの情報が LGWAN で結ばれ、情報の共有化が促進されます。また、システムの構築・運用コスト削減のため、各種情報システムのクラウド化や共同運用化などの動きも加速しています。さらに、地域情報プラットフォームや中間標準レイアウトへの対応、システムの強靱化対応など、国や都道府県が推進する標準化施策への対応も重要となってきています。

このように自治体の取り巻く情報化環境が変化する中、AVCC では、システム最適化のコンサルティングを行なうことで、業務の効率化やコスト削減を検討し、当該自治体に最適なシステム導入及び運用を行っていただくための支援を行います。

## －3 電子自治体構築支援業務

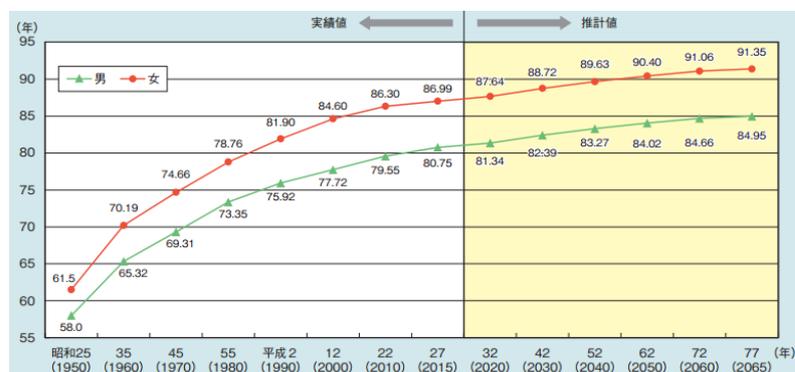
電子自治体の推進に伴い、住民票等のコンビニエンスストアでの交付や、税の電子収納をはじめとするインターネット系の住民サービスシステムの構築、そのバックボーンとしての自治体クラウド導入について、経費の削減や事務負担の軽減、さらには住民の利便性向上を目的とし、最適なシステム及びネットワークの構築を支援します。

## －4 教育・文化施設等における情報システム構築支援業務

公民館、公共図書館、生涯学習センター、教育センター、学校ならびに企業内教育施設等での情報システム・教育システム導入計画、リニューアル計画等に関連した基本計画、設計、運用計画、維持管理計画の策定業務を行ないます。

## －5 高齢社会の課題解決へ向けた取り組み

AVCC では、今までの取り組みとして、高齢者へ向けた ICT の支援活動やシニア層で新たな活動に挑戦する人々の紹介などから、高齢者の積極的な社会参加の促進を図ってきました。この先もますます高齢化が進展し、「高齢最先進国」である日本。その雇用、健康、介護、年金、まちづくり等々、高齢社会のさまざまな課題に対し、ICT や AI を利活用した課題解決へ向けた取り組みを支援してまいります。



平均寿命の推移と将来推移 (出典:内閣府)

## (2) ネットワークコンサルティング業務

### ー1 防災行政無線コンサルティング業務

1959年9月に発生した伊勢湾台風は、死者・行方不明者が5,098人にのぼる甚大な被害をもたらしました。国では、この伊勢湾台風を契機に住民への情報の途絶を回避する目的で、防災行政無線システムの整備促進が図られました。

その後、2011年の東日本大震災を経験し、防災行政無線も多様化・高度化する通信ニーズへの対応が求められ、従来型の放送するだけのシステムから大きく変貌を遂げています。

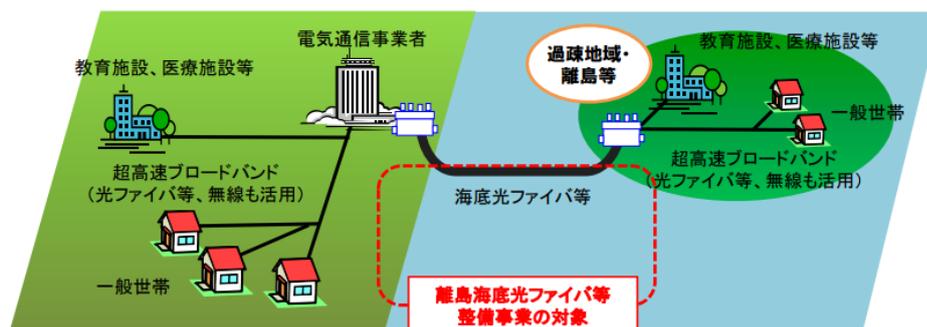
昨今は、ICTやIoTによりあらゆるものが結ばれ、さらにAIを活用し、さまざまな情報が時に分析されます。防災行政無線も、このような技術動向を取り入れ、災害対策本部の意思決定を支援し、その中から、住民へ発信すべき情報は、リアルタイムに判断し、多様なメディアへ自動発信するシステムへと進化しています。

このように、多様化・高度化する災害対策本部の運営まで含めた設計コンサルティングを行ってまいります。

### ー2 超高速ブロードバンド基盤整備コンサルティング業務

全国5,652万世帯のうち通信速度が30Mbps以上のブロードバンドサービスを受けられる世帯は99%ありますが、残り57万世帯(2017.3現在)へは、超高速ブロードバンドの整備が遅れています。高速インターネット通信は、動画の利用、遠隔教育・医療等の活用、地域情報発信など、その地域に住む方々の生活環境を大きく向上させ、地域間格差を是正するものです。

総務省では、過疎地域、離島等の「条件不利地域」における情報通信基盤の整備促進が図られており、AVCCでは、基盤整備の設計及び整備フェーズにおける監理業務を行い、超高速ブロードバンド未整備世帯のゼロに向けて支援を行ってまいります。



条件不利地域における超高速ブロードバンド基盤整備の推進 (出典:総務省)

### －3 CATV コンサルティング業務

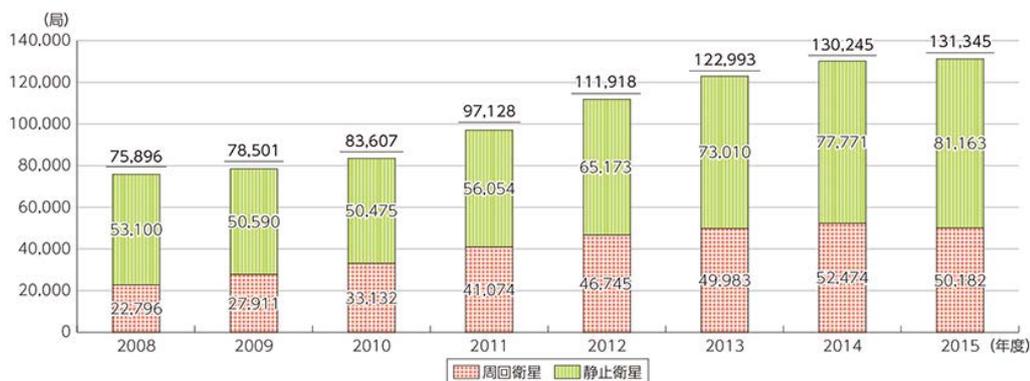
難視聴対策で自治体が構築した CATV も、昨今の情報ネットワークの進展により、4K・8K の高画質化やインターネットサービスの超高速化が求められるようになり、その設備更新が必須となってきております。AVCC では、CATV の更新計画作成、ネットワーク設計及び施工監理等の支援を行ってまいります。

### －4 衛星通信コンサルティング業務

衛星移動通信システムは、自動車、船舶、航空機等の移動体に設置した無線局や衛星携帯電話から、通信衛星を経由して通信を行うシステムです。携帯電話の電波が届かない山間地や海上、上空等のほとんどをカバーしており、災害に強い通信手段としても注目されています。2011 年現在の衛星無線局数は 9 万 7,128 局でしたが、東日本大震災を経験し、2015 年度末では 13 万 1,345 局まで増加しています。

また、昨今では割安な衛星通信サービスも開始され、有線通信回線の補完用通信手段として導入する自治体も増えています。

AVCC では、衛星通信設備を災害時に強靱な通信手段の一つとして捉え、音声通話だけでなく、インターネット含めたデータ通信網としても活用できる高度通信網としてのコンサルティングを行ってまいります。



※静止衛星については、オムニトラックス、N-STAR、インマルサット及びスラヤの衛星移動通信サービスの無線局の合計。  
 ※周回衛星については、イリジウム及びオーブコム衛星移動通信サービスの無線局の合計。

衛星移動通信サービス無線局数の推移 (出典:総務省情報通信白書)

### (3) 情報セキュリティコンサルティング業務

#### －1 ICT 部門における業務継続計画(BCP)作成業務

大規模な災害、事故が発生した場合、組織及び周辺地域の被害により人、物、情報、資金、公共インフラ等が利用できる資源に制約がある状況に陥ることが予想されます。

ICT 部門における BCP 作成は、いかなる緊急時の状況においても、中断させることができない、あるいは復旧を優先すべき重要業務を事前に特定することが肝要です。

事前のバックアップ準備やリスク軽減、事後の災害時応急対応、復旧手順の明確化、指揮命令系統の確保等の計画等を定め、被災の影響を最小限にとどめることを助言しながら、BCP の作成を支援します。

#### －2 ISMS 構築及び ISO27001 認証取得支援業務

行政機関等は、2015 年より取り扱いが開始されたマイナンバーや日本年金機構による漏えい事件を代表とする情報セキュリティ事件事故の発生により、情報資産の取り扱いに対してより一層厳格な管理が求められています。その対策として行政機関等は、ISMS の認証取得が有効となります。

そこで行政機関等の共通的特性、個別特性を踏まえた情報セキュリティに関する既存の条例、管理規則、通達の分析に基づく情報セキュリティポリシーの再策定、ガイドライン、マニュアルの作成、教育教材の制作、教育の実施、簡易点検・監査の実施、監査結果報告、是正提言等一連のマネジメントシステムの構築及び運用の支援、JIS Q 27001:<sup>2014</sup>(ISO/IEC 27001:<sup>2013</sup>)、JIS Q 15001 の適合性認証支援を行います。

#### －3 情報セキュリティ外部監査業務

多くの行政機関等では、情報セキュリティに関する条例、管理規則が定められていますが、実際の運用において、その実施状況を定期的に監査し継続的な是正に取り組むことが求められています。

行政機関等の実務の監査においては、単に条例、管理規則のみを監査基準とするばかりでなく、経緯や個別事情を踏まえた実効性のある監査を行う必要があります。そこで、情報セキュリティを維持・管理する仕組みが組織において、適切に整備・運用されているか否かを豊富な行政機関等の監査実績に基づき、第三者の立場から業務の実態に即した点検・評価をします。

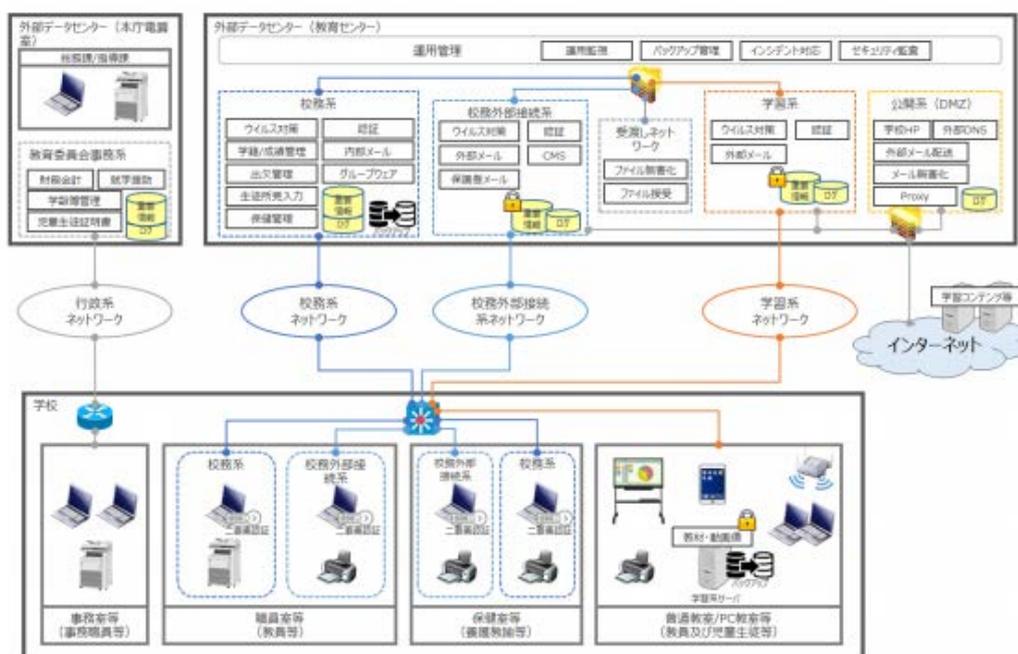
また、情報セキュリティに関する管理及び対策が適切であるか否かを示すとともに、情報セキュリティ上の問題点の指摘と改善の方向性を提言する助言型監査を実施します。

#### －4 学校における情報セキュリティ対策支援業務

学校においては、コンピュータを活用した学習活動の実施など、教職員はもとより、児童生徒が日常的に情報システムにアクセスする機会が多くあります。コンピュータを使い始め たばかりの生徒は情報セキュリティの意識は低く、その危険性も十分に理解できていません。

2015 年度文部科学省調査によると、小学校・中学校・高等学校全体の約 97%が、セキュリティポリシーを策定済としています。そのポリシーの見直しも含め、2017 年 10 月「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を発表しました。

昨今、学校が保有する機微情報に対する不正アクセス事案も発生している中で、児童生徒や外部等による不正アクセスの防止等の十分な情報セキュリティ対策を講じることは、教員及び児童生徒が、安心して学校においてICTを用できるようにするために不可欠な条件であります。AVCC では、学校での情報セキュリティ事故を未然に防ぐための監査や研修、さらには運用支援までは幅広く支援を行ってまいります。



学校における情報セキュリティ対策例（出典：文部科学省）

#### ー5 プライバシーマーク認定審査支援業務

一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)及び一般財団法人放送セキュリティセンターが行なっている、個人情報情報を適切に取り扱っている組織を一定の基準で認定し、プライバシーマークの使用を許諾する制度に係る審査業務を支援します。

#### ー6 情報セキュリティ/個人情報保護等研修支援業務

行政機関や民間企業の情報セキュリティ/個人情報保護に関する研修を行ないます。意識づけ研修から顧客の環境に合わせたケーススタディ演習まで、さまざまな状況に応じた研修を実施します。

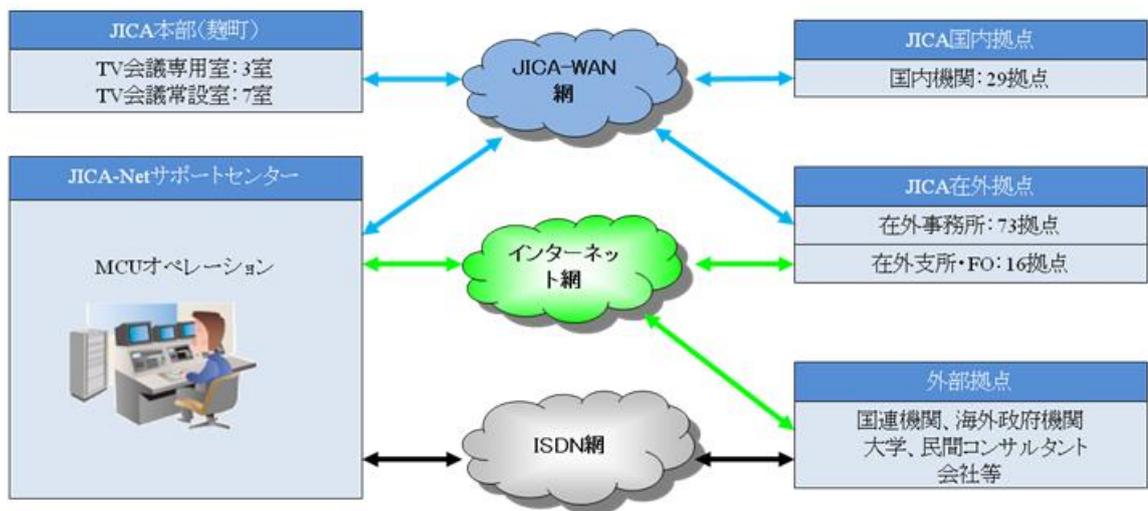
#### (4)TV 会議システム運用業務

独立行政法人国際協力機構(JICA)では、2016年度までJICAにおけるTV会議システムの運用業務をAVCCに委託してきましたが、2017年度からの5カ年間は、「国際協力機構コンピュータシステム運用等業務」の中にTV会議システム運用業務を含めた統合業務を、アクセンチュア株式会社に委託することになりました。

そこで、AVCCではアクセンチュア株式会社から「TV会議システム運用業務」の部分を受託し、2018年度も引き続き、JICA内に業務従事者を配置し、以下のようなTV会議システム運用業務や付随する業務を行う予定です。

- ・TV会議予約管理業務
- ・TV会議接続オペレーション業務
- ・TV会議室、TV会議機器管理業務
- ・TV会議機器保守サポート業務
- ・TV会議グローバルヘルプデスク業務
- ・TV 会議システム更新に伴うコンサルティング業務
- ・TV 会議新設拠点への導入サポート業務

TV会議システム全体概念図



以上